




# 防災 コミュニティマップ 作成の手引き

How to make **my** community map



「足  で歩いて」「目  で観察して」「手  で記入して」作ろう!

# はじめに

『いつ発生してもおかしくない』と言われる  
南海トラフ地震など大きな自然災害に備えるには、  
市民一人ひとりの防災意識と心構え、  
そして地域での助け合いが何よりも重要です。

そのためには災害を自分自身のこととして、  
普段から備えておく必要があります。

この手引きは、いくつかの校区でモデルとして  
校区防災マップ作りに参加された方々の  
経験を聴いて作りました。

まずは、あなた自身と家族の命を守る  
『わが家の防災マップ』作りから始めましょう。



# 目 次

I	なぜ防災コミュニティマップを作るの？ ……	1
II	第一段階 自分が作る！家庭で作る！（わが家の防災マップ）……	2
III	第二段階 隣近所 <small>となりきんじよ</small> で作る！学校で作る！ ……	7
	1 隣近所 <small>となりきんじよ</small> (10～15世帯 <small>せたい</small> 程度)で作る！（ご近所防災マップ） ……	7
	2 学校で作る！ ……	11
	(1) 児童・生徒が作る！（教室防災マップ） ……	11
	(2) 先生が作る！（職員室 <small>しよくいんしつ</small> 防災マップ） ……	13
	(3) 通学団(通学班)で作る！（通学団防災マップ） ……	15
IV	第三段階 校区(町)で作る！（防災コミュニティマップ） ……	17
	【参考1】防災コミュニティマップ作成に必要な物品等 ……	25
	【参考2】わが家 <small>や</small> のお役立ち情報 ……	27



# I

防災コミュニティマップ作成の手引き

## なぜ防災コミュニティマップを作るの？

自分の命を守るためには、自分の住む家やまちにどのような危険がひそみ、何が起これるのかを正しく理解することが必要です。

豊橋市が配布している各種ハザードマップでは、危険箇所や被害が予想される区域等のおおよそはわかりますが、自分の住む家の周囲や各家庭内、町内、校区については詳しく知ることはできません。

このため自分の家庭や学校、職場そして地域を知り、自分ならではのマップを作ることが大切です。

まず自宅の周囲はどのような災害が起これるのか知ろう！



校区の皆さんが集まって危険箇所を確認している様子

### 防災コミュニティマップ作りを通して学びましょう

#### 1. 自分の住む家・地域を知り、災害時の被害状況を予測しよう

市民一人ひとりが自らの防災コミュニティマップを作ること、自分の家・まちを知り、災害時の被害状況がイメージできるようになります。

#### 2. ハザード(災害)に対してとるべき行動を理解しよう

地震や津波、台風等による被害の状況がイメージできれば、命を守るためにどのように行動すべきか、また、普段から何をしておくべきか理解することができます。

#### 3. 自助・共助・公助の連携をより深めよう

防災コミュニティマップは、与えられたものであってはいけません。

まず家庭・家族で作成し、それを近隣、校区へと広げていくことで、家庭・地域の防災力を育てることができます。これら「自助」「共助」と行政の「公助」がしっかり連携することで、被害を最小限にとどめることができます。

I Ⅰ なぜ防災コミュニティマップを作るの？

Ⅱ Ⅱ 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

Ⅲ Ⅲ 第一段階 身近所で作る！学校で作る！

Ⅳ Ⅳ 第二段階 (防災コミュニティマップ) 校区(町)で作る！

# II

防災コミュニティマップ作成の手引き

## 第一段階

# 自分が作る！家庭で作る！

(わが家の防災マップ)

### 1 自分が作る！

#### (1) 自分の家の中をチェックしましょう

大きな地震があった時、下の写真のようになることがありました。この写真を見ながら自分の部屋や家の中がどのようなようになるかをイメージしながら、家族一人ひとりが“**動く、倒れる、飛ぶ、落ちる、割れる**”ものをチェックしましょう。

#### 台所付近



H7.1.17 はんしん あわじ だいしんさい 阪神・淡路大震災



H7.1.17 はんしん あわじ だいしんさい 阪神・淡路大震災



H23.3.11 ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災

#### リビング・居間



H7.1.17 はんしん あわじ だいしんさい 阪神・淡路大震災



H19.7.16 にいがたけんちゅうえつおきじしん 新潟県中越沖地震



H28.4.14 くまもとじしん 熊本地震

#### 子ども部屋・寝室



H7.1.17 はんしん あわじ だいしんさい 阪神・淡路大震災



H19.7.16 にいがたけんちゅうえつおきじしん 新潟県中越沖地震



H23.3.11 ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階 校区(町)で作る！(防災コミュニティマップ)

## (2) 室内の地震対策のポイント

来る直前…



- ① 高いところにおいてあるもの
- ② 倒れると避難路をふさぐもの
- ③ テレビやたな等重いもの
- ④ 何があるのかわからない場所
- ⑤ 倒れると割れてしまうもの
- ⑥ 床にさんらんする避難の障害物
- ⑦ 火を使っているところ
- ⑧ 高齢者

出典：静岡大学防災総合センター  
たかやまほ(じょんじょん)画

震度6強の揺れ最中



出典：静岡大学防災総合センター  
たかやまほ(じょんじょん)画

震度6強の揺れのあと



出典：静岡大学防災総合センター  
たかやまほ(じょんじょん)画

I なぜ防災コミュニティ  
マップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

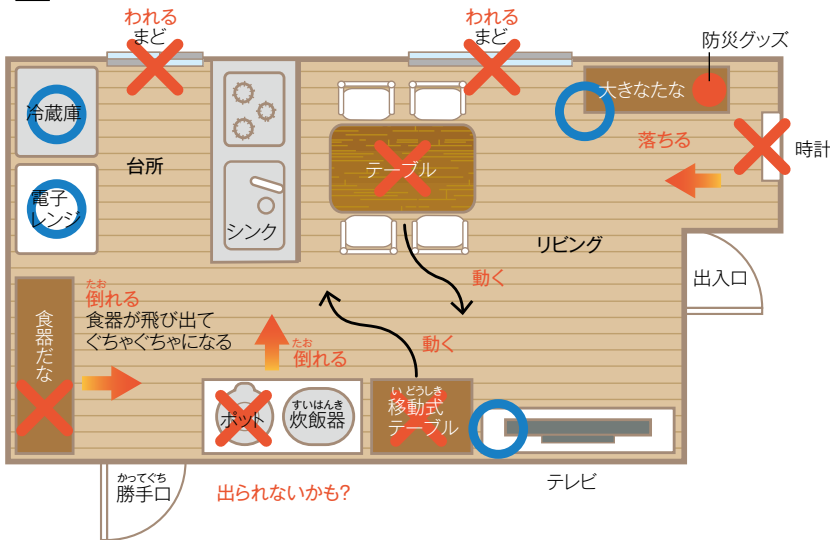
III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

### (3) 危険チェック図の作り方

#### ア 危険チェック手順 例1:台所・リビング

- チェック
- 部屋の中をよく観察しましょう。壁、出入口、まどを書きましよう
  - ガス台や流し(シンク)の位置を書きましよう
  - 食器だなや冷蔵庫等を書きましよう
  - テーブルといすの位置(座る場所)まで書きましよう
  - 固定していない家具には **×** 印、固定している家具には **○** 印を書きましよう
  - 防災グッズ(非常持ち出し袋)のある場所を書きましよう
  - どのような状態になるのか予測を書きましよう



一人ひとりが書くことが大切なのよね!

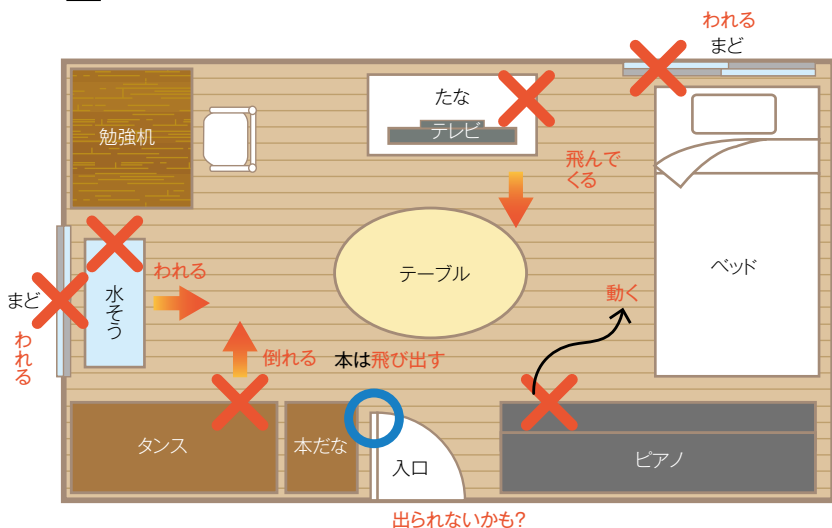


災害時に家の中で危険になるものや事前の対応が必要なものを紹介するね



#### イ 危険チェック手順 例2:こども部屋

- チェック
- 部屋の中をよく観察しましょう。壁、出入口、まどを書きましよう
  - タンス、ベッドや本だな等、部屋にあるものを書きましよう
  - 机やテーブルのいすの位置(座る場所)まで書きましよう
  - 固定していない家具には **×** 印、固定している家具には **○** 印を書きましよう
  - どのような状態になるのか予測を書きましよう



- うご動く**
- ・テレビの台
  - ・コピー機
  - ・ピアノ 等
- たお倒れる**
- ・本だな
  - ・食器だな
  - ・タンス 等

- と飛ぶ**
- ・食器
  - ・本だなの本 等

- お落ちる**
- ・電灯
  - ・額、時計 等

- わ割れる**
- ・まどガラス
  - ・たなのガラス 等

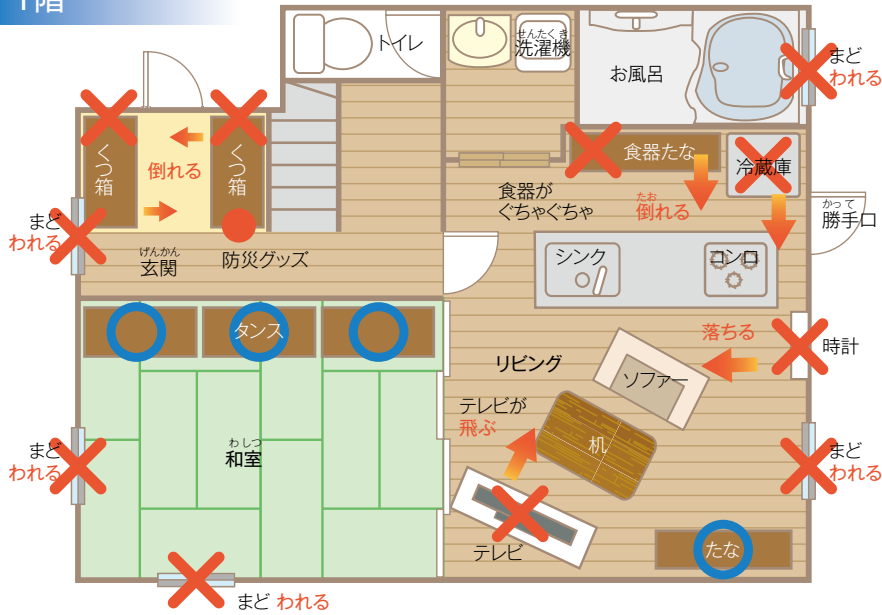
## 2 家庭で作る！(わが家の防災マップ)

### (1) 危険チェック図の作り方

#### 危険チェック手順 例:家全体

- P4の ア、イの危険チェック手順を参考に、他の部屋も観察して家全体の危険チェック図を書きましょう
- 自宅建築年、耐震診断、耐震性を確認しましょう
- 防災グッズ(非常持ち出し袋)のある場所を書きましょう

#### 1階



「家具は凶器」だね。  
天井の照明や壁の  
時計も危険だね！



地震時の死者の80%  
は家具転倒・家屋倒壊  
による即死なのです



ボウサイイエロー

#### 2階



- ★自宅建築年: 1970年
- ★耐震診断: 2010年3月実施(結果:耐震性なし)
- ★耐震工事: 2010年10月実施

※1981年5月以前の建築物は耐震性が低く、2000年6月以降の建築物は耐震性が高いです

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階 校区(町)で作る！(防災コミュニティマップ)





# III

防災コミュニティマップ作成の手引き

## 第二段階

となりきんじょ

# 隣近所で作る！学校で作る！

### 1 隣近所(10~15世帯程度)で作る！(ご近所防災マップ)

自宅の危険箇所や耐震性が分かったら、次は家の周りのご近所について知ること大切です。

ご近所をさそって一緒にまちを歩き、『ご近所防災マップ』を作ってみましょう。



まち歩きの様子

#### (1) 自分の家はどんな場所に建っているの？

あなたは、自分の家が建つ前、そこがどのような土地・地形だったか知っていますか？昔(明治・大正・昭和)の地図や土地条件の地図と今(平成)の地図を比べてみるとその差がよく分かります。家の建つ前の土地の状態によって、地震の時の揺れによる自宅の危険度、例えば液状化による危険などが違ってきます。

昔(明治・大正・昭和)の地形図や今(平成)の地形図は、豊橋市中央図書館2階郷土コーナーにあり、希望があればコピーを取ることが出来ます。

また市役所防災危機管理課にもお問い合わせください。

(例)

昭和45年ごろ(1970年)



今



昔、ウナギの養殖場だった場所が、うめ立てられたのね。

私たちの学校や家が、その上に建っていたなんて、初めて知ってびっくりだわ！！

大きな地震があった時、液状化がひどくて家は傾いてしまわないかしら？

自分の命を守るために、今からいろいろ準備する必要があるわね。

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第二段階 校区(町)で作る！(防災コミュニティマップ)

## (2) 家の周囲を歩いてみよう

自宅の土地の特性とくせいが分かったら、もう少し周辺も歩いて危険性を考えてみましょう。  
歩く時は、下の<歩く時のポイント>や<まち歩きをしてみよう>を参考さんこうにしましょう。

### <歩く時のポイント>

Point <b>1</b>	<b>地震や火災、津波<small>つなみ</small>などが起きたらどのようなになるかイメージする</b> ●地震によって、建物の倒壊 <small>たてもの とうかい</small> ・火災が起これ避難路 <small>ひなんろ</small> がふさがってしまうかもしれません。 津波がおそってくるかもしれません
Point <b>2</b>	<b>危険な場所を確認する</b> ●氾濫 <small>はんらん</small> しそうな川、側溝 <small>そっこう</small> 、屋根瓦 <small>やねがら</small> 、ブロック塀 <small>べい</small> 、うめ立てた所、急傾斜地 <small>きゅうけいしゃち</small> を切ったり盛ったりしたところ、昔は沼や池だった場所などはどこか確認しましょう
Point <b>3</b>	<b>避難場所、安全な場所を確認する</b> ●避難場所 <small>ひなんばしょ</small> や安全な場所はどこか、またそこに行くには、どの道を使えばよいのか確認しましょう

### <まち歩きをしてみよう>

隣近所となりきんじょをまち歩きする時は、次ページの**危険な場所(例)避難場所・安全な場所(例)**を参考さんこうにしながら、あなたの自宅周辺の危険な場所や安全な場所を確認してください。

そしてご近所のネットワークを使って、避難する時に手助けの必要な人がいるか、災害時に使える資機材しきざい(例えば車いす、リヤカー、スコップ等)はどこに保管してあるのか、なども一緒に確認しておくといでしょう。



まち歩きの様子



ご近所が避難行動要支援者をリヤカーで救助する訓練の様子

## 危険な場所(例)



ブロック塀



あふれそうな川・側溝



沼・ため池のある場所



水門や川の流れ



古い木造家屋



危険なものがある場所



狭い道



ひび割れ・凹んだ道



うめ立てた場所  
(液状化が起きそうな場所)



土砂やがけ崩れが起きそうな場所



標高看板が設置されている様子

標高を知らせる  
看板も重要です！



ポウサイイエロー

## 避難場所・安全な場所(例)



指定避難所



一時避難場所・広い場所



応急救護所



AEDのある場所



津波避難ビル



※津波避難ビルの看板は出入口  
など見やすい場所にはってあ  
ります

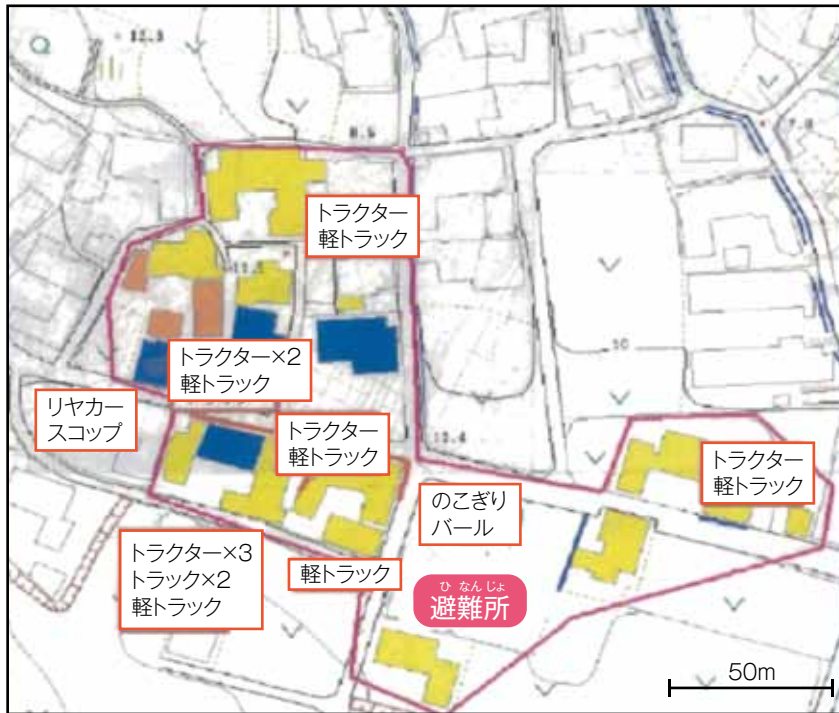
I  
なぜ防災コミュニティ  
マップを作るの？

II  
第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III  
第一段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV  
第二段階  
(防災コミュニティマップ)  
校区(町)で作る！

## <ご近所防災マップ 例1>



※このマップは老津校区〇町4班が作成した組マップの1つです。老津校区では、107組がそれぞれに分かれて作成しました。

## <ご近所防災マップ 例2>



まち歩きをするまで気づかないことがたくさんあったね。  
家の周りに危険な場所がいっぱいだった。  
まち歩きをやっておいてよかったね！



### <凡例>

- 青色 耐震基準が1981年以降の家
- 黄色 戦後(1945年)以降に建てられた家
- 橙色 戦前からの家
- 〇 の中は資器材の名前

ご近所だから作ることができる防災マップもあります。自分のためご近所のために作ってみよう！



I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## 2 学校で作る！

1日のうちで最も長い時間を過ごす学校で、大きな自然災害が起きた時、どのように命を守るのか、児童・生徒、先生が、一人ひとり考えておくことが重要です。

### (1) 児童・生徒が作る！(教室防災マップ)

みなさんが教室にいる時に大きな地震などが来たら、どのように自分の身を守りますか？まず教室の危険な場所と対策、安全な場所を確認しましょう。

#### <教室の中をチェックしよう>

大きな地震があった時、下の写真のようになることがありました。写真を見ながら自分の教室がどのようなになりそうかイメージし、チェックしましょう。



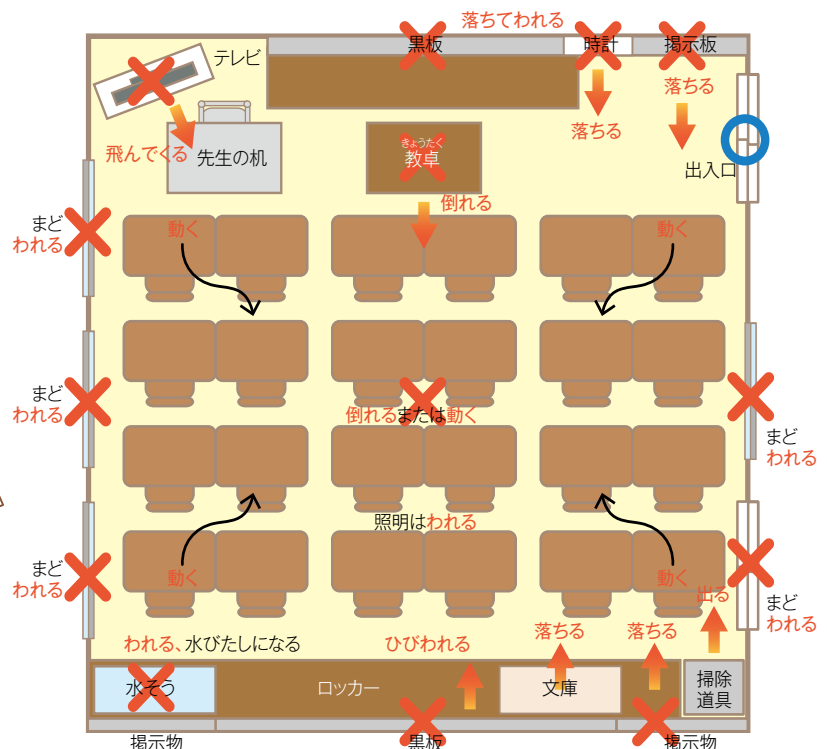
東日本大震災における教室の様子

### 危険チェック図の作り方

#### 危険チェック手順 例:教室

- チェック
- 教室をよく観察しましょう。壁、出入口、まどを書きましよう
  - 教室の机、黒板、時計、掲示物、照明を書きましよう
  - 固定していないものには×印、固定しているものには○印を書きましよう
  - 動く、倒れる、飛ぶ、落ちる、われるなど予測を書きましよう

ぼくたちの教室って大きな地震がきたら怖いな！



I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

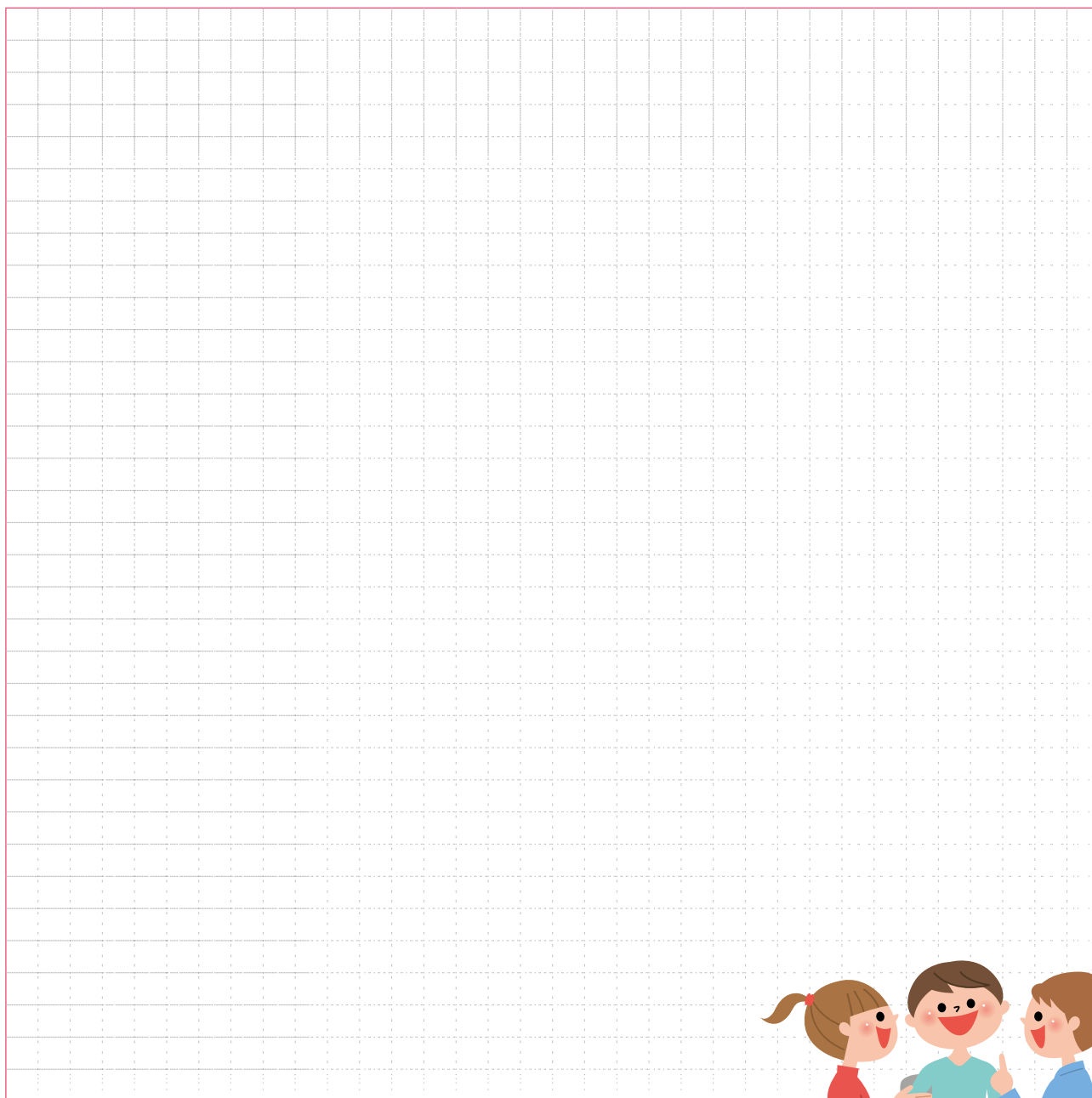
III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階 校区(町)で作る！(防災コミュニティマップ)

# 私たちの教室防災マップ

\*このページに記入し、コピーしてから、クラスの間みんなが見えるところにはっておきましょう

年 月 日作成



※クラスの間みんな、どのような危険があるのか話し合ってみましょう

気づいたこと・話し合ったこと

- 
- 
- 
- 
- 

改善(よりよく)すること

- 
- 
- 
- 
-

## (2) 先生が作る！(職員室防災マップ)

職員室、校長室にいる時に、大きな地震が来たら、どのように身を守りますか？

児童・生徒の「命を守る」ためにも、まず先生が無事であることが必要です。

職員室にどのような危険があるのか、先生一人ひとりが職員室のマップを作って確認しましょう。

### <職員室の中をチェックしましょう>

大きな地震があった時、下の写真のようになることがありました。写真を見ながら職員室はどのようになりそうかイメージして、チェックしましょう。

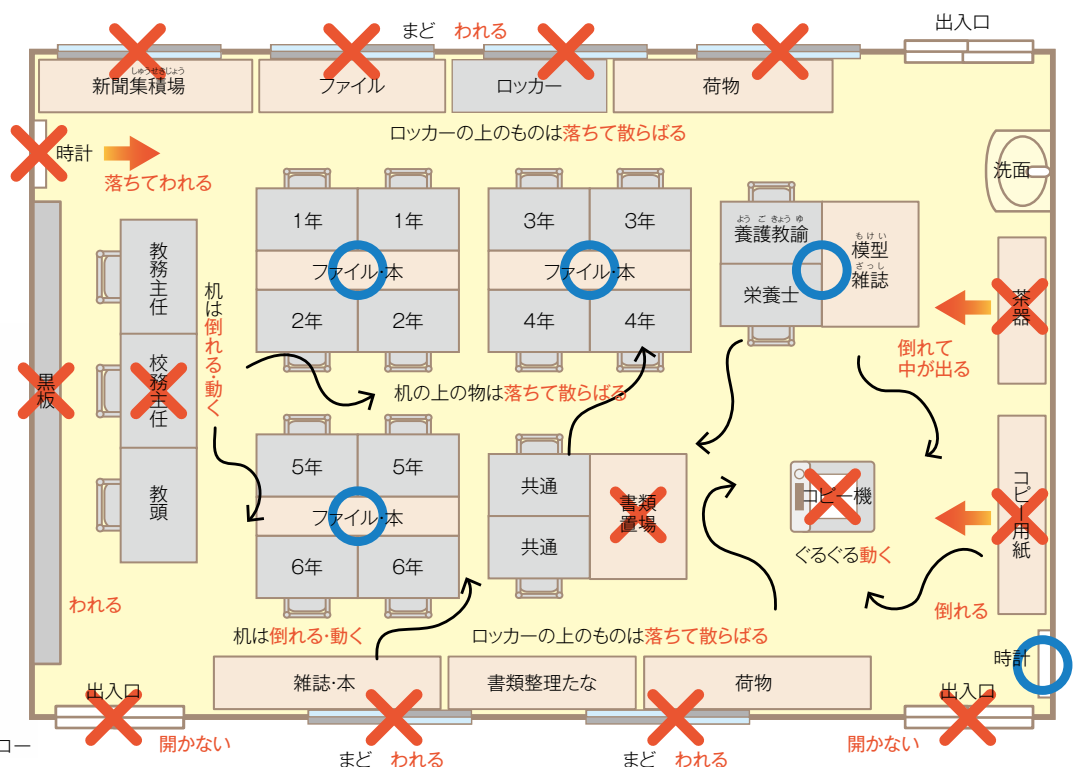


東日本大震災における職員室の様子

### 危険チェック図の作り方

#### 危険チェック手順 例：職員室

- 職員室内をよく観察しましょう。壁、出入口、まどを書きましょう
- 机、黒板、時計、掲示物、照明、ロッカー等職員室内の配置を書きましょう
- 固定していないものには×印、固定しているものには○印を書きましょう
- 動く、倒れる、飛ぶ、落ちる、われる等予測を書きましょう



校長室もやらないとね！



ボウサイイエロー

I なぜ防災コミュニケーションマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階 校区(町)で作る！(防災コミュニケーションマップ)



# しよくいんしつ 職員室防災マップ

\*このページに記入し、コピーしてから、<sup>しよくいんしつ</sup>職員室の出入り口、ドア等にはっておきましょう

年 月 日作成

A large grid area for drawing a disaster map of the staff room. The grid is composed of 25 columns and 30 rows of small squares, enclosed in a red border.

※<sup>しよくいんしつ</sup>職員室以外の場所(図書室や理科室等)も危険をチェックしてみましょう

## 気づいたこと・話し合ったこと

- 
- 
- 
- 
- 

## 改善(よりよく)すること

- 
- 
- 
- 
- 



東日本大震災時の図書室の様子

### (3) 通学団(通学班)で作る！(通学団防災マップ)

登下校の時に、大きな地震が起きたら、あなたの通学路は安全でしょうか？

災害時には思わぬものが危険物になったりします。みなさんの「命を守る」ために、ふだんから通学路の安全性を確認しておきましょう。

#### 危険チェック図の作り方

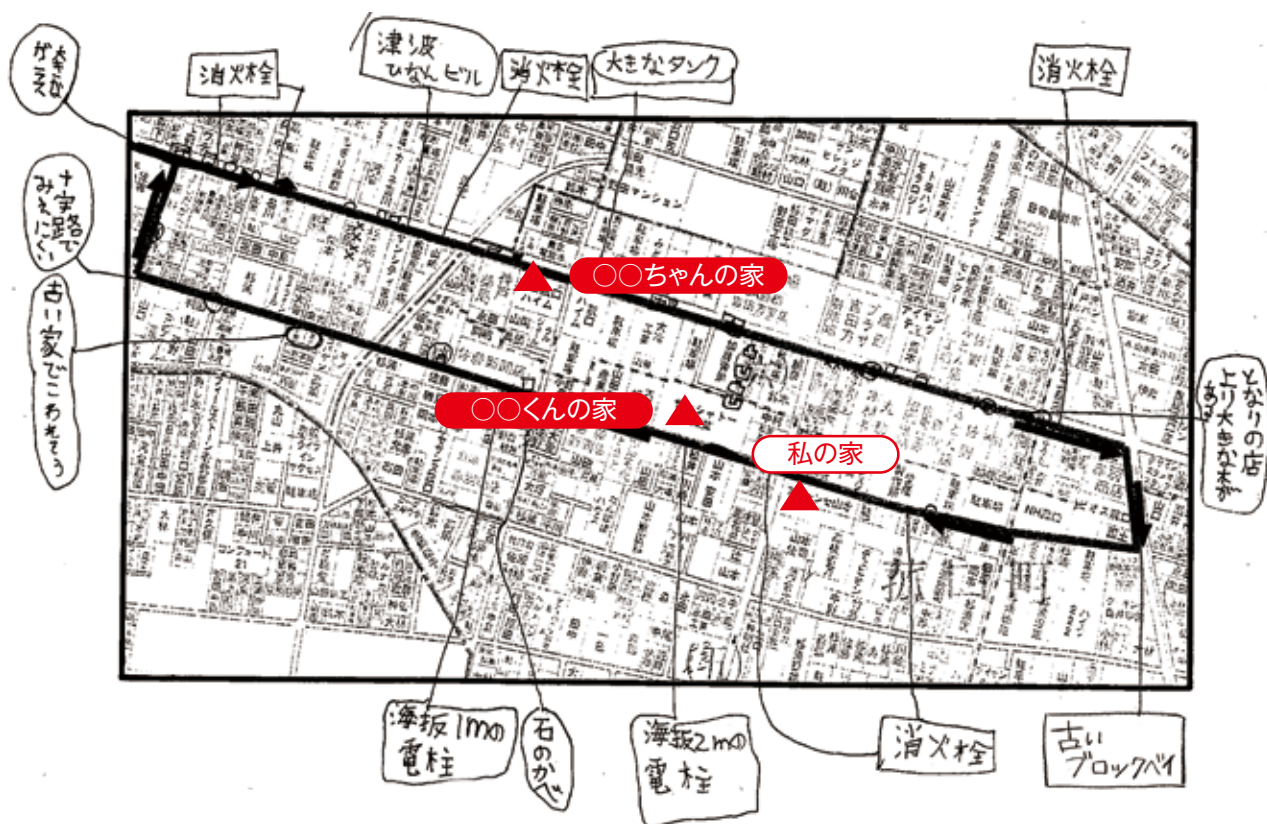
#### 危険チェック手順 例:通学路

- チェック 通学路がのっている地図を用意しましょう
- チェックする時のポイント、危険な場所や安全な場所等を事前学習しましょう
- 地図に学校と自宅、通学路が一緒の友達の家を▲で入れましょう
- 通学路を歩いてチェックしましょう
- チェックした内容を地図に書きましょう

※まち歩きの際は、自治会役員や先生、家の方と一緒にいきましょう  
※P8～9の<歩く時のポイント><まち歩きをしてみよう>を参考にしてください



通学団防災マップ  
が完成だ！



平成28年度に吉田方小学校4年生が作成した通学団防災マップ

# 私たちの通学団防災マップ

\*このページに記入し、コピーしてから、自分の部屋にはっておきましょう

年 月 日作成



※通学団(通学班)のみんなで、どのような危険があるのか話し合ってみましょう

気づいたこと・話し合ったこと

- 
- 
- 
- 
- 

改善(よりよく)すること

- 
- 
- 
- 
-

# IV

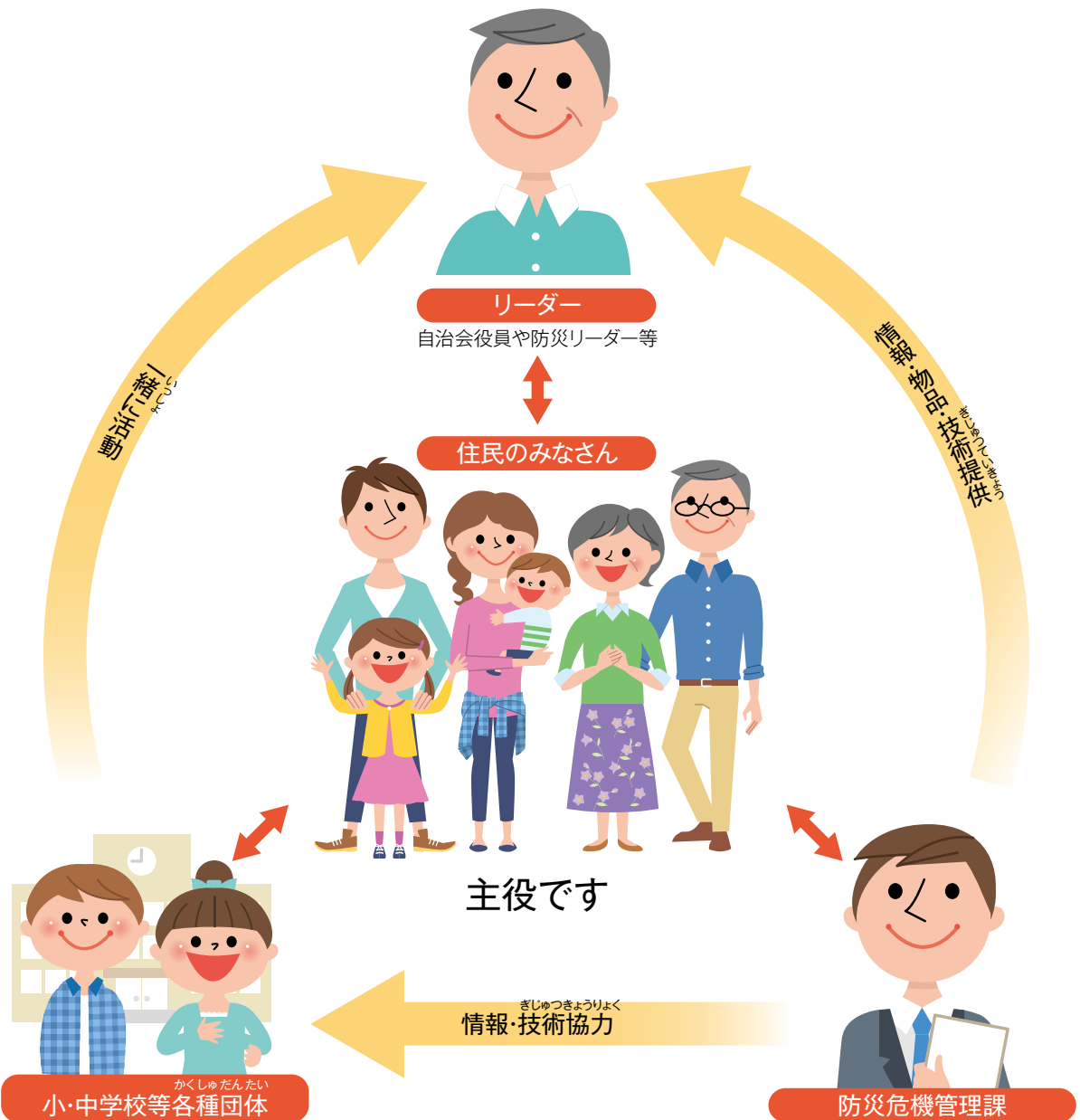
防災コミュニティマップ作成の手引き

## 第三段階 校区(町)で作る！ (防災コミュニティマップ)

ここでは校区や町内で地震、津波、がけ崩れ(土砂災害)などを対象とした防災コミュニティマップの作り方を紹介します。

校区や町で作成する防災コミュニティマップは、自治会役員等がリーダーとなり、住民の皆さんが主役で作ります。

作成にあたっては、第二段階で作られたマップを活用し、情報を加除しながら、校区や町の実情に合わせて作りましょう。



I  
なぜ防災コミュニティ  
マップを作るの？

II  
第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III  
第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV  
第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

# 1 校区(町)で作る防災コミュニティマップ完成までの流れ

校区や町で防災コミュニティマップを作成する手順はStep1～Step4となりますが、第二段階が出来ていない地域がある場合は、Step3のまち歩きを行った後、Step2を行います。

## Step 1 企画・編集会議

- 役員を決める
- 参加を呼びかける
- 参加協力の依頼をする
- 年間スケジュールをたてる
- 物品を用意する



企画・編集会議の様子



まち歩きの様子

## Step 2 防災コミュニティマップの作成

- 第二段階の結果をまとめる
- 話し合いをして、1枚のマップにする



まち歩きの結果をまとめている様子

## Step 3 防災学習会・まち歩き

- 防災学習会を実施する
- マップを持ってまち歩きをする



防災学習会の様子

## Step 4 防災コミュニティマップの完成

- Step 3の成果をStep 2に取り入れ防災コミュニティマップを完成させる
- 発表会をする

ここからがスタート！  
さらに発展させるために…

## Jump 1 防災コミュニティマップの発展

- 防災コミュニティマップを活用した防災訓練(避難訓練)等を実施する
- 防災コミュニティマップを見直す

## Jump 2 防災コミュニティマップ保存版の作成・配布

- マップの校正・製本をする
- 全戸に配布する
- 各家庭で自宅から避難所までの避難路を記入して、自分たちの命を自分たちで守るためにはどのようにしたらよいか話し合う



校区防災コミュニティマップの完成

自分の家は  
どこだろう??



ポウサイブルー

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## Step 1 企画・編集会議

自治会の役員等が集まり、作成の方針を確認します！

### 1 役員を決めましょう

防災マップ作成にあたり役員を決めましょう。8人から10人程度が適当です。コミュニティマップ作りの全体企画・運営を行います。



#### ●リーダー

##### 全体の進行、管理

(防災危機管理課やアドバイザーとの連絡、調整もします)



#### ●運営係

マップの編集、防災学習会、まち歩きなどの企画・運営・調整、会計  
物品管理、会場予約等

(実施内容が多いので手分けして行うとよいでしょう)



#### ●記録係

話し合いの記録、各町が作成したマップの集約、書き写し  
(実施内容が多いので手分けして行うとよいでしょう)

### 2 参加を呼びかけましょう

実施する単位ごとにまち歩きの参加を呼びかけましょう。  
多くの皆様に参加してもらいましょう。



まち歩きの様子

### 3 参加協力の依頼をしましょう

地域には自治会・防災会だけでなく、消防団、女性防火クラブ等の防災組織や、小中学校、子ども会、PTAや老人会等の各世代が集まる組織があります。防災コミュニティマップ作りを通して、世代間の交流や協力体制を作りましょう。

※小・中学校に参加を求める時は、早めに協力を求めておきましょう

### 4 年間スケジュールを立てましょう

防災危機管理課では、町、校区の実情に合わせた防災コミュニティマップの作成行程を一緒に考えますが、実施内容(例)、年間スケジュール実施時期等(例)を次に示します。



I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## 実施内容(例)

実施内容	目的	実施者
<b>Step1</b> 企画・編集会議	校区(町)の防災コミュニティマップを作るためのリーダーや役員、協力者を決定し、マップを作る目的・方向性を確認します。さらに防災危機管理課職員から、作成工程の説明を聞き、年間スケジュールを作ります。	役員、第二段階でマップを作成した代表者、防災リーダー、防災危機管理課職員
<b>Step2</b> 防災コミュニティマップの作成	第二段階(隣近所・組・通学団(班))で作成した各マップを、1つの校区(町)防災コミュニティマップとしてまとめ、見せ方を工夫します。	役員、(第二段階でマップを作成した代表者)
<b>Step3</b> 防災学習会・まち歩き	災害や防災に関する知識の向上と自分たちの住んでいる地域の今昔を知ることで、まち歩きの新たな視点を得るとともに、災害を我がこととし、意識できるようにします。	役員、まち歩きを実施するみなさん、アドバイザー、防災危機管理課職員
<b>Step4</b> 防災コミュニティマップの完成	新たに行ったまち歩きの内容を、第二段階で作成したマップにまとめたものの中へ取り入れ、校区(町)防災コミュニティマップを完成させます。	役員、アドバイザー、防災危機管理課職員
<b>Jump1</b> 防災コミュニティマップの発展	作成した校区(町)防災コミュニティマップを校区(町)の防災訓練に活用し、実用性を検証して、必要に応じて見直します。	役員、校区(町)のみなさん、防災危機管理課職員
<b>Jump2</b> 防災コミュニティマップ保存版の作成・配布	検証し、見直した防災コミュニティマップを校正、製本して各戸に配布します。各家庭で自宅の危険性や避難所などを確認することで防災の意識が高まります。	役員、アドバイザー、防災危機管理課職員

## 年間スケジュール実施時期等(例)

実施時期	実施内容	会場
4月上旬	<b>【企画・編集会議】</b> 役員・年間スケジュール決め、協力者依頼	校区市民館等
4月中旬～6月	<b>【校区(町)の防災コミュニティマップの作成】</b> 第二段階(隣近所・組・通学団)で作成した各マップを、1つの校区(町)防災コミュニティマップとしてまとめる	校区市民館等
7月～9月	<b>【防災学習会・まち歩き】</b> 防災危機管理課や専門家などによる防災学習会の実施 校区(町)としてのまち歩きの実施	小中学校体育館 校区(町)
10月～12月	<b>【防災コミュニティマップの完成】</b> 校区(町)防災コミュニティマップの完成・発表	校区市民館等
	<b>【防災コミュニティマップの発展】</b> 防災訓練の実施(防災コミュニティマップの検証)	小中学校体育館・グラウンド
必要時	<b>【防災コミュニティマップの発展】</b> 防災コミュニティマップの見直し	校区市民館等

I  
なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II  
第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III  
第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV  
第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## Step 2 防災コミュニティマップの作成

### 1 各組(町)等で作成した第二段階のマップを集めましょう

作成していない組、町があってもかまいません。

まずは「マップを作ってみよう!」という思いのある組、町のマップを集めて校区のマップ(案)を作ってみましょう!



東1組が作成したマップ



東2組が作成したマップ



南1組が作成したマップ



西2組が作成したマップ



北1組が作成したマップ

少しずつマップ作りの仲間を増やしていきましょう



### 2 各組(町)のマップを1枚のマップにしましょう

各組(町)のマップを1/5000の白地図1枚にまとめます。

みなさんしか作れないオリジナルのマップ(案)が出来ましたね!



各マップを1つにして作成された防災コミュニティマップ(案)

I なぜ防災コミュニティマップを作るの?

II 第一段階  
自分が作る! 家庭で作る!

III 第二段階  
隣近所で作る! 学校で作る!

IV 第三段階  
校区(町)で作る!  
(防災コミュニティマップ)



## Step 3 防災学習会・まち歩き

### 1 防災学習会を実施しましょう

#### (1) 災害の基礎知識を確認する

防災危機管理課の職員や専門家から、防災の知識や自分の住む地域に予測されるハザード(災害)・危険場所、避難場所等を聞いて知識を増やします。



防災ガイドブック

#### (2) お住まいの地域の過去の災害や被害を学ぶ

これまでに自分の住む地域にどのような災害があり、どこにどんな被害があったのか等を防災危機管理課職員等から聞きましょう。昔から住んでいる方に、土地の利用や変更場所なども合わせて聞く機会を作るとよいですね。



防災学習会の様子

### 2 まち歩きをしましょう

#### (1) グループ分けと役割分担

5～8名くらいを1グループとします。グループは、小・中学校と自治会、PTA等が単独、または一緒になって1つのグループを組み、以下のような役割分担をするのもよいでしょう。まち歩きのなかで危険・安全な場所の確認等は、全員で行います。



グループ長

まち歩きや話し合いの進行



記録係

意見をまとめ記録



撮影係

気づいたところを撮影



発表者

グループ意見を発表

#### (2) まち歩きのルートを決める

まち歩きは1回につき、1時間、1.5Km程度を目安にします。小・中学生も一緒にまち歩きを行う時は、通学路から始めると、行いやすいでしょう。

※P8～9の<歩く時のポイント><まち歩きをしてみよう>を参考にしてください。

#### (3) 歴史に学ぶ

まち歩きルートの中に、過去に災害があったことを示す記念碑や史跡がある、メンバーの中に被災経験者がいる時は、その時の様子も聞きながら確認できると、災害時のイメージが具体的にわきやすいです。



災害の歴史を伝える遺産

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## Step4 防災コミュニティマップの完成

### 1 Step3の成果<sup>せい か</sup>をStep2に取り入れ 防災コミュニティマップを完成させましょう

土地<sup>かいへん</sup>の改変など学習会で得た知識が増えると、自分の住んでいるまちが今までと違って見えてきます。

新しく気づいたこと、見てきたことを追加して、マップを完成させましょう。

命を守るマップが  
できたぞ！



平成27年度に栄校区で作成された防災コミュニティマップの完成図

### 2 作成した防災コミュニティマップを使って発表会をしましょう

作成しただけでなく、皆<sup>みんな</sup>の集まる場所で発表会をしましょう。

発表はクラス内、学校全生徒、寄り合い<sup>よあひ</sup>、防災訓練等様々な機会を使ってできるだけ多くの人に調べたことを知ってもらえるようにしましょう。



クラスでの発表の様子



校区の皆さんを招いての学校全体での  
発表の様子



校区の会合内での発表の様子

I  
なぜ防災コミュニティ  
マップを作るの？

II  
第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III  
第一段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV  
第二段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## Jump 1 防災コミュニティマップの発展<sup>はってん</sup>

### 1 作成したマップを使って防災訓練を行いましょよう

防災訓練の中で避難経路<sup>けいろ</sup>や安全な場所、危険な場所を確認する等して、本当に命が守れる防災コミュニティマップになっているか、危険な場所を見落とし<sup>みおとし</sup>していないか等検証<sup>けんしやう</sup>しましょう。

### 2 マップを見直しましょう

まちは常に変化します。危険な場所も安全な場所も変わります。防災コミュニティマップは作成したら終わりではなく、よりよいマップになるように何度も見直していきましょう。



防災リーダーがまちのことを説明している様子

## Jump2 防災コミュニティマップ保存版の作成・配布<sup>ほぞんぱん</sup>

### 1 防災コミュニティマップの校正・製本<sup>こうせい せいほん</sup>をしましょう

自分たちが作った防災コミュニティマップを見直したり、印刷・配布するにあたり「これでいいのだろうか？」等、気づきや疑問が出てくるかもしれません。

そのような時は、防災危機管理課職員<sup>ぼうさいききかんりか</sup>やアドバイザー<sup>ゆうしきしや</sup>（有識者）から専門的な知識をもらい、防災コミュニティマップを修正することもひとつの方法です。

アドバイスを必要とされる方は、防災危機管理課までご相談ください。



アドバイザー<sup>ゆうしきしや</sup>  
（有識者）

アドバイスを受けて作成・印刷された防災コミュニティマップ



このままでいいのかな？



### 2 全戸<sup>ぜんこ</sup>に配布しましょう

みなさんのお手元に届いたら、まず最初に自分の家の位置を記入しましょう。そして家族みんなで避難所の場所等を確認しましょう。



I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## 参考 1

# 防災コミュニティマップ作成に必要な物品等

## 1 必要物品

物品用具	使用方法など
鉛筆・消しゴム・定規	危険チェック図の下書きや清書時に使用する
(油性)黒ペン	危険チェック図の清書時に使用する
赤青色鉛筆又はペン	家具固定や通学団危険チェック図で友人の家を記入する時に使用する
バインダー	まち歩きする時や外で危険チェック図を作成する時に使用する
付箋紙	まち歩きをして気づいた点や特記事項を記載し、地図に貼る
方眼紙	危険チェック図を作成する時に使用する*1
撮影した写真	危険場所や気になるところ等を撮影したもの
のりやハサミ	写真や付箋紙等を地図に切ったり貼ったりする
地域の白地図	住宅地図、都市計画基本図、1/5000の白地図等を使用するとよい*2 (通学団危険チェック図には住宅地図を使用するとよい)
昔(明治・大正・昭和) 現在(平成)の地形図	自宅周辺や地域の土地利用の変遷(沼・池、埋め立て地、土を盛ったところ、川の流れ等)を確認したり、白地図に記入する*3
土地条件図	自宅や近所の土地の自然条件等に関する基礎資料になる*4
防災ガイドブック	豊橋市の被害予測(震度・浸水、土砂災害の危険な場所等を確認する)*5
カメラ	まち歩きをする時に使用する

- ※ 1 危険チェック図を記入する時に、防災コミュニティマップ作成の手引きの中にある記入シートではなく、別の方眼紙を使用してもよいでしょう。
- ※ 2 都市計画基本図は市役所9階都市計画課で、1枚300円で手に入れることができます。1/5000の白地図は市役所4階防災危機管理課で準備できます。
- ※ 3 昔(明治・大正・昭和)の地形図、今(平成)の地形図は、豊橋市中央図書館2階(郷土コーナー)で見ることが出来ます。有料でコピーを取ることも可能です。
- ※ 4 国土地理院のHP(土地利用条件図)からも検索することができますが、不明な点は市役所4階防災危機管理課に問い合わせください。
- ※ 5 防災ガイドブックは、平成27年4月に各家庭に配布されています。防災危機管理課や、市役所じょうほうひろば(東館1階)、各窓口センター、各地区市民館、中央図書館等にも置いています。

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

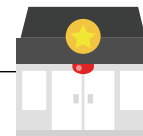
II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第一段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第二段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニティマップ)

## 2 マップに盛り込む情報の例

避難施設等	指定避難所、一時避難場所、広域避難場所、津波避難ビル、応急救護所等
その地域にある防災施設	同報系防災無線、防災井戸、防災備蓄倉庫、飲料水兼用耐震性貯水槽、水防倉庫、災害時用マンホールトイレ等
災害時に役立つ公共施設	交番、消防署、消防団詰り所、災害拠点病院、病院、診療所等
地域の特性等	標高、水門、避難の方向等
住民目線等	まち歩きで発見した危険な場所、安全な場所等



## 3 参考になる防災情報サイト

サイト名	URL	得られる情報
J-SHIS (防災科学技術研究所) 地震ハザードステーション	<a href="http://www.j-shis.bosai.go.jp/">http://www.j-shis.bosai.go.jp/</a>	住んでいる場所の「地震リスク」を細かく分析したデータベースです
国土交通省 防災情報提供センター	<a href="http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/">http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/</a>	河川、気象、道路(交通)などの情報が得られます
内閣府 防災のページ	<a href="http://www.bousai.go.jp/index.html">http://www.bousai.go.jp/index.html</a>	国の防災対策などが得られます
愛知県 みずから守るプログラム	<a href="http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000069406.htm">http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000069406.htm</a>	水害の時に自ら身を守るように住民目線の情報提供をしています
豊橋市 防災・災害情報	<a href="http://www.city.toyohashi.lg.jp/6607.htm">http://www.city.toyohashi.lg.jp/6607.htm</a>	豊橋市の災害・情報などが得られます
ちずみる豊橋	<a href="http://www2.wagmap.jp/toyohashi/Portal">http://www2.wagmap.jp/toyohashi/Portal</a>	地理情報システムを使って、豊橋市の防災情報、都市計画情報などを確認できます

他にもいろいろな情報収集方法があるぞ！自分で探してみよう



ボウサイブルー

I なぜ防災コミュニケーションマップを作るの？

II 第一段階  
自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階  
隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階  
校区(町)で作る！  
(防災コミュニケーションマップ)

## 参考2

# わが家のお役立ち情報

自分のまわりにどんな災害が起こるのか、過去の災害や自分の住んでいる場所がどのような土地だったのか、勉強したのちにまち歩きをして危険・安全な場所を確認します。

最後に防災コミュニティマップを見ながら、**自宅**と「わが家のお役立ち情報」を記入すると、災害がより自分のこととして意識出来るようになります。

みなさんの作成した防災コミュニティマップに是非「わが家のお役立ち情報」を掲載してください。

世帯主

電話番号

住所

豊橋市

想定する災害の種類	避難のきっかけ情報	避難先の名称

連絡先（家族、親族、知人など）

氏名	電話など連絡先	氏名	電話など連絡先

家族の医療情報

氏名	通っている病院	病名・アレルギー	常用薬の名前

家族が離れ離れになった時の連絡先

集合場所名	電話など連絡先

町内への連絡簿（変更毎に更新してください）

役名	氏名	電話など連絡先

I なぜ防災コミュニティマップを作るの？

II 第一段階 自分が作る！家庭で作る！

III 第二段階 隣近所で作る！学校で作る！

IV 第三段階 校区（町）で作る！（防災コミュニティマップ）

## 防災コミュニティマップ作成マニュアル 策定検討委員会委員

※敬称略

区 分	所属機関等	氏 名
学識経験者	北海道大学名誉教授	◎平川 一臣
校区代表者	芦原校区	伊藤 公満
	汐田校区	森田 昌宏
	賀茂校区	坂田 正俊
	栄 校 区	小田 豊博
	野依校区	小林 一博
	下地校区	片桐 吉啓
	幸 校 区	上島 智隆
	前芝校区	岡村 勝
	多米校区	朝倉 啓成
事務局	防災危機管理課	

◎座長

お問い合わせ先

## 豊橋市防災危機管理課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地  
TEL ●0532-51-3116 FAX ●0532-56-2122  
E-MAIL ●bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

平成 29 年 3 月発行